平川市議会　一般質問「コロナ禍における市政運営について」 ～主な質問と市の答弁、今後の方向性～

議員の基本的な考え方（問題提起）

- 新型コロナウイルスは変異を繰り返し、今後も拡大と収束の波が2～3年続く長期化の様相。
- マスク・手洗い・換気・三密回避・ソーシャルディスタンスなど「新しい生活様式」を継続。
- 令和4年度は「感染防止対策」「経済活動推進」「社会教育推進」の3つの柱で、コロナとの共存政策を実施し、市民の安心・安全な市政運営を目指す。

コロナとの共存政策（3つの柱）

感染防止対策（市民の健康・生命を守る）



- マスク・手洗い・換気
- 三密回避・ワクチン接種
- 検査体制の充実

経済活動推進（市民の生計・雇用を守る）



- 観光・飲食・農業・雇用
- デジタル活用・販路拡大

社会教育推進（市民の健康・文化・生きがい）



- イベント・スポーツ・文化
- オンライン・健康増進

1 感染予防・検査・ワクチン接種体制

議員の主な質問・要望

- 市内の感染者数を公表し、市民の不安を解消すべき。
- PCR検査センターの開設、抗原検査キットの配布拡大を行うべき。
- ワクチンの4回目接種の準備を、早めに進めるべき。

市の答弁（要旨）

- 市のホームページで市内感染者数を公表している。
- PCR検査センターを設置し、367名が利用（2月20日時点）。
- 抗原検査キットは高齢者施設・児童施設等に配布中。
- 4回目接種は国の情報に基づき、情報収集・体制整備を進める。



2 マイナンバーカード・マイナポータルの活用推進

議員の主な質問・要望

- 自宅療養者への食糧支援、買物代行・デリバリー、孤独・孤立化防止対策を実施すべき。
- マイナンバーカード取得と公金受取口座の登録を推進すべき。
- オンライン申請やマイナポータルの活用を拡大し、市民と市役所双方の負担を軽減すべき。

市の答弁（要旨）

- 自宅療養者には買物代行・宅配支援を実施。
- マイナンバーカードは普及率 41％（2月20日時点）。
- コンビニ証明書、図書館カード、各種申請など市独自サービスの導入を検討。



3 経済対策事業

議員の主な質問・要望

- 観光：映像配信・オンライン事業、少人数旅行プランの実施を。
- ねぶたまつり：今年は村回りだけでも最低限実施すべき。
- 飲食：宅配ボックス・買物代行・デリバリー支援、社会的弱者への支援を。
- 農業：雇用創出事業の継続、インターネット通販・輸出、加工品拡大、桃の品種改良研究への助成・出資を。

市の答弁（要旨）

- 観光は、映像配信・オンライン事業を推進し、少人数旅行プランを検討。
- ねぶたまつりは、感染状況や県の方針を踏まえ、関係団体と協議しながら判断。
- 飲食は、プレミアム飲食・交通券の継続、買物代行・デリバリー参入支援を検討。
- 農業は、雇用マッチング支援、インターネット販売、加工品拡大、桃の長期保存研究を検討。



4 オンラインによるイベント・健康増進事業

議員の主な質問・要望

- 映像配信・オンラインイベントの推進を。
- 予約制・少人数・複数回実施、地域組織・文化・スポーツクラブの活性化など、密にならない方法での実施を。

市の答弁（要旨）

社会教育（教育長）

- オンライン参加は10名以下と少ないが、今後は可能なものから実施。
- 講座は少人数・回数増、オンライン環境づくり、録画配信も検討。

健康増進事業（健康福祉部長）

- 高血圧講座等は少人数・回数増で実施。
- オンライン・ハイブリッド配信を検討。
- 講師選定はオンライン対応可能な講師を選定。



今後の感染状況の見通しと対応のイメージ

県の感染状況の目安（ステージ）

ステージ	感染状況	主な対応
レベル0	感染者なし	通常の対応
レベル1	散発的な発生	注意喚起・基本対策
レベル2	感染拡大	行動制限・イベント縮小
レベル3	急速な拡大	不要不急の外出自粛等

市の主な対応

- ✔ 市民への情報発信（ホームページ・広報）
- ✔ 感染状況に応じた市の対応
- ✔ 医療・福祉・教育の体制強化
- ✔ 市長による注意喚起（防災無線・SNS等）

➡ 市民一人ひとりの行動が、感染拡大の防止につながります

今後の方向性（まとめ）

- ✔ 国・県の動向を注視しつつ、感染防止・経済活動・社会教育の3つの柱でコロナとの共存を推進する。
- ✔ マイナンバー・マイナポータルの活用を拡大し、市民と市役所の負担軽減を図る。
- ✔ 観光・飲食・農業の支援とデジタル化による新たな取組を進める。
- ✔ 必要に応じて追加の財政出動を行い、市民の安心・安全な市政運営を実現する。

市民の命と暮らしを守りながら、コロナと共に生きるまち ひらかわ